

## 正誤表

誤	正
<p>p. 53-4</p> <p>このアンビヴァレントな同一化は取引である。規範的な枠組みの中で承認可能であるためには、傷つきを伴う同一化を選択しなければならないのだ。杉山の本は、この意味で、自らの生を規範的な枠組みの中において一貫した道徳的人物として物語ることによって正常性へと屈服するという、社会へのジェスチャーである…… (Itani 2011: 301-2, 強調引用者)</p>	<p>このアンビヴァレントな同一化は取引である。規範的な枠組みの中で承認可能であるためには、傷つきを伴う同一化を選択しなければならないのだ。そうしてはじめて、生は生きられうるものになることができる。杉山の本は、この意味で、自らの生を規範的な枠組みの中において一貫した道徳的人物として物語ることによって正常性へと屈服するという、社会へのジェスチャーである…… (Itani 2011: 301-2, 強調引用者)</p>